



観察！いきものたちの夜のすがた
③夜に咲く、夜に眠る植物たち

多田多恵子

なかなか見ることのできない、植物の夜の姿を、豊富な写真とイラストとわかりやすい文章で解説しています。

夜にだけ咲く花、夜に眠ってしまう植物など、おもしろい植物をたくさん紹介しています。(あぶた読書の家所蔵)

読書の家から

あぶた読書の家 (☎ 76-2100)

【時間】10時～16時20分 【休館日】木曜日、祝日

みずうみ読書の家(☎76-2100<あぶた読書の家>)

【時間】9時～17時 【休館日】木曜日、祝日

洞爺総合センター図書室 (☎ 82-5111)

【時間】9時～16時30分 【休館日】なし

新刊案内

■あぶた読書の家

- ▲一般▽塞王の楯(今村翔吾)▽白鳥とコウモリ(東野圭吾)▽もういちど(畠中恵)▽山狩(笹本稜平)▽ロータスコンフィデンシャル(今野敏)▽宗棍(今野敏)▽曲亭の家(西條奈加)▽ブラックボックス(砂川文次)▽アクトレス(菅田哲也)
- ▲児童書▽▽いつつこうさぎとうみのほうせき(まつおりかこ)▽ふゆってどんなところなの?(工藤ノリコ)▽こんやはどんなゆめをみる?(工藤ノリコ)▽観察!いきものたちの夜のすがた ③夜に咲く、夜に眠る植物たち(多田多恵子)

■洞爺総合センター図書室

- ▲一般▽▽スイート・ホーム(原田マハ)▽なんでも見つかる夜に、こころだけが見つからない(東畑開人)▽わたしの美しい庭(風良ゆう)▽夏の体温(瀬尾まいこ)▽花束は毒(織守きょうや)▽君とあえたから・・・(喜多

絵本の玉手箱 7月のおはなし会

■日時 ①7月15日(金)14時～15時②7月11日(月)、16日(土)、25日(月)10時～11時30分、7月21日(木)14時～15時30分

■場所 ①あぶた読書の家②あぶた母と子の館

■問合せ 佐藤(☎76-2487)

ピノキオの会 読み聞かせ

■日時 7月19日(火)14時30分～

■場所 あぶた読書の家

■問合せ 松本(☎76-2613)

- 川泰)▽アクトレス(菅田哲也)▽冷たい檻(伊岡瞬)
- ▲児童書▽▽ぶーちゃんとおにちゃん(島田ゆか)▽だつぴ!(北村直子)▽はかせのふしぎなプール(中村至男)▽おおきなおおきなにんじん(刀根里衣)▽リメイク!(あさだりん著/いつか絵)▽よだかの星(宮沢賢治著/三永ワヲ絵)▽Orange 夕ぐれ時のふしぎ(堀米薫著/Ao絵)▽Yellow Green 友だちの木(おおぎやなぎちか著/Ao絵)

地域おこし協力隊



通信

vol.50

今月の
リポーター
室田崇行さん



洞

爺湖漁業協同組合で活動をしている地域おこし協力隊の室田です。

春になるとワカサギの産卵が始まります。漁協は、ワカサギの保全と漁を維持していくため、ふくべ網を使って産卵直前の個体を獲って採卵・ふ化放流に取り組んでいます。さらに自然産卵により資源を保っています。

また、各地からの卵に関する問い合わせもあって資源維持に貢献できているので、採卵・ふ化放流は重要な取り組みでもあると思います。

さて、6月になりヒメマス漁が始まりました。洞爺湖ではヒメマス料理を提供していたり、道の駅あぶたでも冷凍ヒメマスを販売していますので、ぜひ

味わってみてください。

洞爺湖はカルデラ湖で、いくつかの大小の川が注ぎ込んでいます。湖畔には水草が生い茂っている場所もあり、そこは稚魚やたくさん生き物の住み家、ワカサギなどの産卵場所にもなっています。洞爺湖の生き物たちにとって水草というのは欠かせない存在です。しかし、人の手で持ち込まれてしまった特定外来生物のウチダザリガニは、水草を切断し消失させてしまうなど、湖の生態系に大きな影響を及ぼしてしまっています。

これからも、漁協の組合員のみならず協力しながらワカサギの漁場となっている洞爺湖の生物多様性保全に引き続き取り組んでいきたいと思っています。